

18.10.31

樞密院會議筆記

一軍需省官制外二十四件

昭和十八年十月三十一日(日)曜日午前十時十五

分開議

聖上臨御

出席員

原議長

鈴木副議長

大臣

東條

内閣総理大臣
兼陸軍大臣
兼海軍大臣
兼商工大臣

五番

小泉厚生大臣

六番

岩村司法大臣 七番

鳴田海軍大臣 八番

賀屋大藏大臣 九番

八田兼鐵道大臣 十番

安藤内務大臣 十一番

青木大東亞大臣 十二番

重光外務大臣 十三番

山崎農林大臣 十四番

岡部文部大臣 十五番

顧問官

石井顧問官 十七番

有馬顧問官 十八番

窪田顧問官 十九番

清水顧問官 二十番

南弘顧問官 廿一番

奈良顧問官 廿二番

松井顧問官 廿三番

菅原顧問官 廿四番

潮顧問官 廿六番

林顧問官 廿七番

深井顧問官 卅八番

二上顧問官 卅九番

真野顧問官 三十番

大島顧問官 卅一番

小幡顧問官 卅二番

竹越顧問官 卅三番

三土顧問官 卅四番

伊澤顧問官 卅五番

池田顧問官 卅六番

南(即次)顧問官 卅七番

關席員

泉二顧問官 卅八番

平生顧問官 卅九番

親王

雍仁親王 一番

宣仁親王 二番

崇仁親王 三番

載仁親王 四番

顧問官

松浦顧問官 廿五番

委員

星野内閣書記官長

森山法制局長官

佐藤(基)法制局參事官

入江法制局參事官

佐藤(達)法制局參事官

澁澤外務省通商局長

唐澤内務次官

松隈大藏省主稅局長

大森司法次官

藤野文部省總務局長

石黒農林次官

北野商工書記官

小松遞信次官

長崎鐵道次官

武井厚生次官

川本大東亞書記官

報告員

鈴木審査委員長

書記官長

堀江書記官長

書記官

諸橋書記官

高辻書記官

議長(原)

之ヨリ會議ヲ開ク

軍需省官制

企業整備本部官制

奏任ノ軍需省部長等ノ特別任用ニ關スル件

大正二年勅令第二百六十二號任用分限又

ハ官等ノ初叙陞叙ノ規定ヲ適用セサル文

官ニ關スル件中改正ノ件

各省官制通則中改正ノ件

農商省官制

運輸通信省官制

通信院官制

海員審判所職員定員及任用令外六勅令中

改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル内閣所屬部

局及職員官制中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル技術院官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル外務省官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル内務省官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル防空總本部

官制制定ノ件

昭和十五年勅令第七百四十一號神祇院ノ

副總裁、教務局長及調査官ノ特別任用ニ關

スル件中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル大藏省官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル印刷局官制

制定ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル司法省官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル文部省官制

中改正ノ件

行政機構整備實施ノ爲ニスル厚生省官制

中改正ノ件

昭和十四年勅令第四百八十一號軍事保護

院ノ職員ノ特別任用ニ關スル件中改正ノ

件

行政機構整備實施ノ爲ニスル大東亞省官
制中改正ノ件

行政機構整備臨時職員令

戰時行政職權特例中改正ノ件

高等試験ノ停止ニ關スル件

以上二十五件ヲ一括シテ議題ニ供ス第一讀

會ヲ開キ朗讀ヲ省略シテ直ニ審査委員長ノ

報告ヲ求ム

報告員（鈴木） 今回御諮詢ノ軍需省官制外二十

四件ニ付本官等全員審査委員タルノ命ヲ承

ケ事案ノ頗ル重要ニシテ而モ緊急審査ヲ要
スベキモノナルヲ思ヒ十月二十五日ヨリ三
十日迄連日委員會ヲ開キ當局大臣及關係諸
官ノ辯明ヲ聽キ慎重之ガ審議ヲ遂ゲタリ
内閣總理大臣ノ説明ニ依レバ帝國ハ今次大
戰開始以來幾クモナクシテ廣大ナル大東亞
ノ地域ヲ占領シ大東亞民族ノ結束ヲ固クス
ルト共ニ其ノ豊富ナル資源ヲ急速ニ戰鬪資
材化シツツ戰略態勢ヲ日々強化シツツアリ
此ノ趨勢ノ進ム所遂ニ敵米英ガ如何ナル手

段ヲ以テスルモ帝國ヲ壓倒シ得ザルニ至ル
コトハ敵ノ戰爭遂行上最モ苦痛トスル所ナ
ルヲ以テ敵ハ帝國ノ戰爭能力ノ斯クノ如キ
程度ニ達スルニ先立チ帝國ニ大ナル反撃ヲ
加ヘ以テ帝國ノ戦力擴充ヲ阻止シ帝國ヲ壓
倒セント企圖シ居レリ而シテ近代戰ノ一大
特性ハ航空戰ヲ中心トスル大規模ナル消耗
戰タルニ在リテ昨夏以來ノ各方面ニ於ケル
戰鬪ハ斯ル消耗戰ノ連續ニシテ而モ敵ノ兵
力ハ急速ニ増大シツツアリ然ルニ之ニ對應

スベキ我方ノ戦力特ニ航空戦力ノ整備ハ未
ダ作戰上ノ要求ニ應ズルニ足ラザルガ故ニ
最短期間ニ之ヲ飛躍的ニ增强スルヲ必要ト
シ從テ之ガ爲ニハ從來ノ態勢ヲ改メ一億國
民舉テ總員戰鬪配置ニ就キ以テ渾身ノ力ヲ
盡スコト緊要ナリ政府ニ於テハ從來努メテ
平時ノ状態ニ急激ナル變動ヲ與ヘズシテ國
政ノ運営ニ當リ來レルガ先般意ヲ決シテ之
ニ刷新ヲ加フルコトトセル所以ノモノ亦實
ニ茲ニ存ス政府ノ今回行ハントスル國政運

營刷新ノ眼目トスル所ハ統帥ト國務トノ關
係ヲ愈々緊密化シテ雄渾活潑ナル戦争指導
ノ遂行ヲ圖リ又戦争完遂ノ一翼トシテ機敏
潑刺タル對外施策ヲ行フト共ニ之ニ即應シ
國內諸般ノ態勢ヲ劃期的ニ強化セントスル
モノニシテ國內態勢強化ノ目標トスル所ハ
官民ヲ舉ゲテ不屈不撓軍需生産ノ急速ナル
增强特ニ航空戦力ノ躍進的擴充ヲ圖リ之ヲ
中心トシテ帝國ノ決勝態勢ヲ徹底的ニ強化
セントスルニ在リ而シテ其ノ具體的方策ノ

重點トスル所ハ行政運営ノ決戦化、國民動員ノ擴大及國內防衛態勢ノ強化ノ三者ニシテ行政運営ノ決戦化ニ付テハ軍需省運輸通信省及農商省ノ新設ヲ始トスル行政機構ノ整備其ノ職員ノ縮減、官廳事務ノ刷新及豫算ノ徹底的單純化ヲ圖リ國民動員ノ擴大ニ付テハ學生等ニ對スル一般徵集猶豫ノ停止及徵集徵用範圍ノ擴大普遍化ヲ行ヒ國內防衛態勢ノ強化ニ付テハ國內防衛行政ノ統一の運營ヲ期スル爲新ニ防空總本部ヲ設置シ帝都

及重要都市ニ於ケル人員施設ヲ疎開セントスルモノナリ仍テ政府ハ以上ノ見解ト決意トノ下ニ行政機構ヲ整備強化スルコトヲ必要ナリト認メ茲ニ本案諸件ノ御諮詢ヲ奏請シタルモノナリ
次ニ本案各件ノ要旨ヲ説明スレバ左ノ如シ
第一 軍需省官制

現下ノ事態ニ鑑ミ國力ヲ擧ゲテ軍需生産ノ急速ナル增強特ニ航空戦力ノ飛躍的擴充ヲ圖ル爲之ヲ計畫的且統一的ニ遂行シ

得ル如ク行政運営ノ態勢ヲ整備強化スル
ハ極メテ肝要ナリ然ルニ軍需生産ニ關ス
ル現在ノ官廳機構及行政運営方法ヲ見ル
ニ其ノ間事務ノ錯雜遷延等遺憾ノ點アリ
テ決戰經濟ノ效率發揮ヲ阻害スルコト甚
カラザルモノアリ仍テ此ノ際之ニ徹底的
再檢討ヲ加ヘ行政機構及官廳事務ノ簡素
化就中監督系統ノ簡易化、重要生産ニ對ス
ル軍官發註ノ統一、行政ノ敏速適正ヲ期シ
得ルガ如ク之ヲ整理強化スルノ必要ヲ認

メ茲ニ新ニ軍需省ヲ設置シ之ニ從前企畫
院、陸海軍省、商工省、厚生省、大藏省及逓信省
ニ於テ管掌シタル軍需品又ハ其ノ企業ニ
關係アル事務ヲ移管統合セントス即チ本
案ノ内容次ノ如シ

(一) 軍需大臣ハ國家總動員ノ基本ニ關スル
事務、鑛工業一般、鑛產物及工業品(所管物資)
ノ生産、配給、消費及價格、主要軍需品ノ原材
料及特定軍需品ノ生産管理、發註、調辨ニ關
スル事務、民間工場ノ利用及設備經營ノ指

導ノ軍需上必要ナル統制ニ關スル事務所
管物資又ハ電力ノ生産又ハ配給ヲ目的ト
スル企業ニ於ケル勤勞管理、賃金、資金調整
及經理統制ニ關スル事務、電氣及發電、水力
ニ關スル事務並ニアルコト及石油ノ專
賣ニ關スル事務ヲ管理シ、國家總動員ノ基
本ニ關スル事務ヲ行フニ付必要アルトキ
ハ關係各廳ニ對シ資料ノ提出又ハ説明ヲ
求ムルコトヲ得ルモノトシ、(二)軍需省ニ航
空兵器總局並ニ總動員機械、鐵鋼、輕金屬、非

鐵、金屬、化學、燃料及電力ノハ局ヲ置キ局中
ニ部又ハ部及課ヲ置クコトヲ得シメ、特ニ
航空兵器總局ニハ長官官房ノ外、總務第一、
第二、第三及第四ノ四局ヲ置クコトトシ、同
總局及總動員局以下各局ノ事務分掌ヲ定
メ、(三)軍需省ニ各省官制通則所定ノ職員ノ
外、勅任ノ技監、勅任又ハ奏任ノ軍需官、奏任
ノ事務官、理事官、統計官及技師並ニ判任ノ
軍需官、補統計官、補及技手ヲ置キ、此等ノ諸
官並ニ部長、書記官及屬ノ定員ヲ定メ、其ノ

他軍需大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ命ズ
ル事務官參與及専門委員並ニ軍需官軍需
官補等ヲ以テ補スル鑛務監督官及鑛務監
督官補ノ事ヲ定メ(四)特定軍需品ニ關スル
軍事上必要ナル事項ニ付テハ航空兵器總
局長官及燃料局長ハ陸海軍大臣ノ指揮監
督ヲモ承クルモノトシ(五)企畫院官制商工
省官制燃料局官制及物價局官制ハ之ヲ廢
止スルモノトス

第二 企業整備本部官制

現下ノ事態ニ於テ我國ノ經濟總力ハ擧ゲ
テ之ヲ直接戰力化スルヲ緊要ナリト認メ
政府ニ於テハ過般來各種產業部門ニ對シ
組織的ナル企業整備ヲ實行シツツアルガ
時局ノ進展ニ應ジ今後益々之ヲ促進強化
セントスルニ當リ之ニ關スル諸施策ヲ迅
速適正ニ實施スル爲其ノ事務ハ一部局ニ
於テ之ヲ統轄處理セシムルノ必要アリ又
金屬類ノ回收ハ現段階ニ於テハ右ノ企業
整備ト密接不可分ノ關係ニ在リ仍テ今回

本案ノ勅令ヲ以テ從來ノ金屬回收本部ヲ
廢止スルト共ニ企業整備本部ヲ新設シ以
テ各種企業ノ整備ノ統轄ニ關スル事務及
金屬類ノ回收ニ關スル事務ヲ一括管掌セ
シメントスルモノニシテ本案ノ内容ハ(一)
企業整備本部ハ軍需大臣ノ管理ニ屬シ企
業整備ノ統轄及金屬類ノ回收ニ關スル事
務ヲ掌ルモノトシ(二)同本部ニ勅任ノ本部
長ノ外奏任ノ書記官、事務官、回收官、理事官
及技師並ニ判任ノ屬回收官補及技手各若

干人ヲ置キ其ノ他軍需大臣ノ奏請ニ依リ
内閣ニ於テ命ズル回收官、參與及專門委員
ノ事ヲ定メ(三)本部長以下ノ諸官ノ職務ヲ
定メ(四)金屬回收本部官制ハ之ヲ廢止スル
旨ヲ定ムルニ在リ

第三 奏任ノ軍需省部長等ノ特別任用ニ關
スル件

前述ノ奏任ノ軍需省ノ部長、軍需官及別案
ノ勅令ヲ以テ設置セラルル軍需監理官並
ニ企業整備本部回收官ハ其ノ職務ノ性質

ニ鑑ミ廣ク適材ヲ求ムルノ必要アリテ其ノ任用ヲ普通任用ノ資格アル者ノミニ限定スベカラザルガ故ニ本件ヲ以テ之ガ爲ニ特別任用ノ規定ヲ設ケ右諸官ハ正規ノ資格ヲキモ其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得ルモノトシ又今回ノ行政機構整備ノ爲廢官ト爲ル企畫院調査官商工省物資調整官奏任ノ商工省工務官鑛山監督局鑛山官及金屬回

收本部回收官ノ各特別任用規程ヲ廢止スルモノトス

第四 大正二年勅令第二百六十二號任用分

限又ハ官等ノ初敘陞敘ノ規定ヲ適用

セサル文官ニ關スル件中改正ノ件

前述ノ如ク奏任ノ軍需省部長軍需省軍需官及軍需省軍需監理官並ニ企業整備本部回收官ハ特別任用規定ノ適用ヲ受クルモノナルガ故ニ實際上其ノ任用ニ支障ナカラシムル爲ニハ高等官官等俸給令第四條

所定ノ初級官等ニ關スル制限ヲ受ケザル
モノト爲スノ必要アリ仍テ茲ニ本案ヲ以
テ本件ノ現行勅令第二條ニ改正ヲ加ヘ初
級官等ノ適用ヲ除外セル諸官中ニ右ノ諸
官ヲ加フルト共ニ今回廢官ト爲ル企畫院
調査官、神祇院教務局長、秦任ノ商工省工務
官、金屬回收本部回收官、軍事保護院ノ局長
及鑛山監督局鑛山官ヲ之ヨリ削除セント
ス

第五 各省官制通則中改正ノ件

本件ハ省ノ新設廢止及行政機構ノ整備ニ
伴フモノニシテ其ノ主眼トスル所ハ(一)各
省官制通則ヲ適用スベキ省名中ニ農商軍
需及運輸通信ヲ加フルト共ニ農林商工、遞
信及鐵道ノ省名ヲ削除シ(二)軍需及運輸通
信ノ二省ニハ省務ヲ分掌スル爲局ノ外總
局ヲ置クコトトシ其ノ分掌事務ハ各省官
制ニ於テ之ヲ定メ總局ニ長官官房及局ヲ
置キ其ノ分掌事務及局ノ分課ハ其ノ省大
臣ノ定ムル所ニ依ラシメ總局長官

ヲ、總局各局ニ局長ヲ置キ之ガ身分及職掌
ヲ定メ(三)從前局務ヲ分掌スル爲局中課ヲ
置キタルヲ更ニ局中ニ部又ハ部及課ヲ置
クコトヲ得ルモノトシ各部ニ勅任又ハ奏
任ノ部長或ハ高等官ヲ以テ充ツル部長ヲ
置クコトトシ其ノ職掌ヲ定ムルニ在リ

第六 農商省官制

今回政府ニ於テハ時局ノ要請ニ即應スル
爲中央地方ヲ通ジテ行政機構ノ整備強化
ヲ圖ルコトト爲リタルニ由リ之ガ一環ト

シテ食糧ノ自給態勢ヲ確立スルト共ニ國
民生活物資ノ綜合確保ヲ圖リ以テ戰時國
民生活ノ安定ヲ期セントシ現在農林省ニ
於テ管掌スル事務ト商工省ニ於テ管掌ス
ル事務中軍需及交易關係ノモノヲ除キ夕
ル事務トヲ調整綜合シ之ヲ管掌セシムル
爲茲ニ本案ヲ以テ新ニ農商省ヲ設置シ之
ニ伴ヒ農林省ヲ廢止スルコトト爲サント
ス而シテ本案ノ内容ハ(一)農商大臣ハ農林
畜水產物、飲食料品、纖維工業品主トシテ國

民生活ノ用ニ供スル其ノ他ノ工業品及此
等ノ生産ニ必要ナル専用物品ノ生産配給
及消費物價一般農山漁家商一般竝ニ度量
衡及計量ニ關スル事務ヲ管理スルモノト
シ(二)農商省ニ總務農政山林水産纖維生活
物資及物價ノ七局ヲ置キ總務局ニ於テハ
物價統制ニ關スル事項ヲ除キタル從前ノ
農林省總務局ノ所掌事務竝ニ商工省總務
局及企業局ノ所掌事務ノ一部ヲ農政山林
及水産ノ各局ニ於テハ從前ノ農林省ノ當

該局ノ所掌事務ヲ纖維局ニ於テハ從前ノ
農林省蠶絲局及商工省纖維局ノ所掌事務
ヲ生活物資局ニ於テハ從前ノ農林省食品
局ノ所掌事務竝ニ度量衡計量及一般民需
工業品ニ關スル事務等ヲ物價局ニ於テハ
軍需物資ノ價格ニ關スルモノヲ除キタル
從前ノ物價局ノ所掌事務及從前ノ農林省
總務局ノ掌理セル物價統制ニ關スル事務
ヲ夫々掌ルモノトシ(三)農商大臣ハ必要ト
認ムル地ニ木炭事務所及其ノ出張所ヲ設

ケ薪炭需給調節ニ關スル事務ヲ分掌セシ
メ又中央度量衡檢定所ヲ置キ度量衡器及
計量器ノ檢定比較検査及試験ニ關スル事
務ヲ掌ラシムルモノトシ(四)農商省ニ各省
官制通則所定ノ職員ノ外奏任ノ事務官理
事官統計官小作官及技師並ニ判任ノ統計
官補小作官補及技手各專任若干人ヲ置ク
ト共ニ書記官及屬ノ專任定員ヲ定メ(五)農
林省官制ハ之ヲ廢止スルモノトス

第七 運輸通信省官制

戰時ニ於ケル運輸及通信ノ業務ハ用兵作
戰ニ關シテハ勿論生産擴充特ニ軍需生産
國民生活ノ確保其ノ他重要ナル各般ノ國
家活動ニ至大ノ關係ヲ有スルコトハ言フ
俟タザル所ニシテ現下ノ苛烈ナル戰局ニ
對應シテ戰力擴充ノ基底タル海陸空ノ綜
合輸送能力ヲ急速且徹底的ニ強化スルト
共ニ戰時通信能力ヲ充分ニ發揮セシメン
ガ爲ニハ行政機構ニ相當ノ改正ヲ加ヘテ
事務ノ連繫統一ヲ計ルノ必要アリ仍テ此

ノ目的ヲ以テ茲ニ運輸通信省及其ノ外局
タル通信院ヲ新設シ之ヲシテ從前ノ鐵道
省所掌事務ノ全部、電氣及發電水力ニ關ス
ル事務ヲ除キ遞信省中央部局ノ管掌セル
事務ノ全部、企畫院ノ管掌セル交通動員ニ
關スル事務、内務省ノ管掌セル港灣ニ關ス
ル事務、商工省ノ管掌セル鐵道車輛其ノ他
陸運ノ機械器具ニ關スル事務及倉庫營業
ニ關スル事務並ニ文部省ノ管掌セル氣象
ニ關スル事務ヲ統合管掌セシメントス即

チ本案運輸通信省官制ノ内容ハ(一)運輸通
信大臣ハ陸運(自動車製造事業ヲ除ク)水運
港灣、倉庫營業、航空、航空機製造事業ヲ除ク
及氣象ニ關スル事務並ニ通信院ヲ管理シ
航空ニ關スル事務ニ關シテハ必要ニ應ジ
陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ對シ其ノ管理ニ
屬スル人馬、艦船、航空機、器材等ノ使用ヲ請
求スルコトヲ得ルモノトシ(二)運輸通信省
ニ大臣官房ノ外、企畫局、鐵道總局、海運總局、
自動車局、港灣局及航空局ノ二總局及四局

ヲ置キ夫々ノ分掌事務ヲ定メ鐵道總局ニ
ハ長官官房並ニ總務、業務、施設及資材ノ四
局ヲ、海運總局ニハ長官官房並ニ總務、海運、
船舶及船員ノ四局ヲ、航空局ニ監理部及乘
員部ヲ置キ自動車局ニハ部又ハ部及課ヲ
置クコトヲ得ルコトトシ海運總局ニ横濱
出張所ヲ、航空局ニ航空試驗所ヲ、地方ニ九
鐵道局ヲ置キ其ノ他運輸通信大臣ハ必要
ニ應ジテ地方官署等ヲ置クコトヲ得ルコ
トトシ夫々ノ管掌事項ヲ定メ(三)同省ニ各

省官制通則所定ノ職員ノ外勅任ノ鐵道監
航空局監理部長及航空局乘員部長奏任ノ
事務官、鐵道官、海務官、航空官、調査官、技師及
標識技師、判任ノ鐵道官補、技手及標識技手
並ニ判任待遇ノ鐵道手各專任若干人ヲ置
クコトトシ書記官及屬ノ專任定員ヲ定メ
鐵道總局ノ各局長、自動車局長及自動車局
ノ各部長並ニ各鐵道局ノ局長ハ鐵道監、
太鐵道局ニ在リテハ鐵道官ノ中ヨリ之ヲ
補スルコトトシ其ノ他運輸通信大臣ノ奏

請ニ依リ内閣ニ於テ命ズル海運總局參與
航空局委員海運總局事務官及航空局事務
官ノ事ヲ定メ海運總局長官ハ特定ノ事項
ニ關シ海軍大臣航空局長ハ特定ノ事項ニ
關シ陸軍大臣及海軍大臣ノ夫々指揮監督
ヲ承クルコトトシ(四)遞信省官制海務院官
制航空局官制及鐵道省官制ハ之ヲ廢止ス
ル旨ヲ定ムルニ在リ

第八 通信院官制

本件ハ前述ノ趣旨ヲ以テ新設セラルベキ

通信院ノ組織權限ヲ定ムルモノニシテ其
ノ要旨ハ(一)通信院ハ運輸通信大臣ノ管理
ニ屬シ電氣及發電水力ニ關スル事務ヲ除
ク外從前ノ遞信省ノ所掌事務並ニ貯金局
及簡易保險局ノ所掌事務ヲ併セ掌ルモノ
トシ(二)同院ニ總裁官房並ニ總務業務工務
通信監督及貯金保險ノ五局ヲ置キ夫々ノ
分掌事務ヲ定メ(三)同院ニ勅任ノ總裁及局
長奏任ノ書記官事務官檢閱官及技師奏
任又ハ判任ノ官吏練習所教官判任ノ屬檢

閱官補、技手及屬補並ニ判任待遇ノ遞信手
ヲ置キ總裁ニハ親任官ノ待遇ヲ賜フコト
アルベキモノトシ總裁以下常務職員ノ職
務權限ヲ定メ(四)通信院ニ官吏練習所及海
底線工事事務所ヲ置キ其ノ他總裁ハ所要
ノ地ニ電氣通信建設事務所又ハ貯金保
險局ノ支局ヲ置クコトヲ得ルコトトシ夫
々ノ所掌事務等ヲ定メ(五)貯金局官制及簡
易保險局官制ハ之ヲ廢止セントスルニ在
リ

第九 海員審判所職員定員及任用令外六勅

令中改正ノ件

本件ハ前述ノ運輸通信省調査官ニ付其ノ
職任ニ鑑ミ廣ク適材ヲ求ムルノ要アルニ
由リ特別任用ノ途ヲ開キ且其ノ任用ニ支
障ナカラシムル爲初級官等ノ制限ヲ撤廢
スルノ趣旨ヲ以テ關係規程ヲ整備スルノ
外概テ前陳ノ諸官制ノ改革及別案ノ勅令
ニ依ル海運局ノ設置及海務局ノ廢止ニ伴
フ當然ノ措置トシテ海員審判所職員定員

及任用令外六勅令ノ現行規定ニ相當ノ整理ヲ加ヘントスルモノナリ

第十 行政機構整備實施ノ爲ニスル内閣所屬部局及職員官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲(一)内閣所屬ノ印刷局ヲ大藏省ニ移管セントスルニ由リ從前ノ印刷局ニ關スル條項ヲ削除シ(二)内閣ノ外局タル統計局ヲ其ノ内局ニ移サントスルニ由リ内閣ノ所屬局中ニ統計局ヲ加フルノ外其ノ所掌事務及所屬職員ニ

關スル條項ヲ設ケ(三)企畫院及東北局ノ廢止等ニ伴ヒ其ノ掌理セル事務ノ一部ヲ内閣官房ニ移管セントスルニ由リ其ノ所掌事務ヲ追加シ及所要ノ職員ヲ増置セントスルニ在リ

第十一 行政機構整備實施ノ爲ニスル技術院官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲從前内閣ノ外局タリシ特許局ヲ廢止シテ之ガ所掌事務ヲ技術院ニ移管スルコトヲ主眼トスル

モノニシテ技術院ノ目的事項中ニ發明ノ
振興ヲ所掌事務中ニ發明實用新案意匠及
商標ニ關スル事項ヲ加ヘ參技官以下ノ職
員ヲ増置シ從前總裁官房ノ外四部ヲ置キ
タルヲ増加シテ七部トシ抗告審判官審判
官審査官及審査官補ノ補職及職掌ノ事並
ニ陳列館ニ關スル事ヲ定メ特許局官制ハ
之ヲ廢止スル旨ヲ定ムルニ在リ

第十二 行政機構整備實施ノ爲ニスル外務
省官制中改正ノ件

本件ハ外務省ニ於テ行政機構整備實施ノ
爲同省内ニ於ケル通商局ヲ廢止シテ戰時
經濟局ヲ新設シ同局ニ於テハ從前通商局
政務局及調査局ニ於テ分掌セル戰時ニ於
ケル對外經濟施策及對外經濟交渉ニ關ス
ル事務ヲ掌ラシムルモノトシ從前通商局
ノ掌理セル旅券ニ關スル事務ヲ大臣官房
ニ移管シ書記官以下ノ職員ノ專任定員ヲ
減少スルコトヲ定メントスルモノナリ

第十三 行政機構整備實施ノ爲ニスル内務

省官制中改正ノ件

本件ハ内務省ニ於テ行政機構整備實施ノ爲(一)内務大臣ノ所管事項ニ付従前企畫院ノ管掌セル國土計畫ニ關スル事務ヲ追加スルト共ニ防空ニ關スル事務ヲ新設ノ防空總本部ニ移管スルニ由リ削除シ(二)同省内ノ防空局ヲ廢止シ及之ニ附隨スル條項ヲ削リ(三)國土局ノ所掌事務ニ於テ前述ノ國土計畫ニ關スル事務ヲ加ヘ運輸通信省ヘ移管スル港灣ニ關スル事務ヲ削リ(四)書

記官以下ノ職員ノ專任定員ヲ増減スルコトヲ定ムルモノナリ

第十四 行政機構整備實施ノ爲ニスル防空

總本部官制制定ノ件

本件ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ防空ニ關スル機構ヲ整備強化スルト共ニ國內防空行政ノ統一の運営ヲ圖ランガ爲新設セントスル防空總本部ノ組織權限ヲ定ムルモノニシテ其ノ主眼トスル所ハ(一)防空總本部ハ内務大臣ノ管理ニ屬シ防空ニ關スル事務及

防空ニ關スル各廳事務ノ調整統一ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ(二)同總本部ニ長官及次長ノ外勅任ノ局長四人奏任ノ書記官事務官理事官及技師並ニ判任ノ屬及技手各若干人ヲ置キ其ノ他内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ命ズル事務官參與及専門委員ヲ置クコトトシ長官及次長ハ夫々内務大臣及内務次官ヲ以テ之ニ充ツルコトトシ(三)同總本部ニ總務警防施設及業務ノ四局ヲ置キ其ノ局長ノ中警防局長及施設

局長ハ夫々内務省ノ警保局長及國土局長ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトトシ(四)長官以下職員ノ職掌並ニ防空研究所及防空講習所設置ノ事ヲ定ムルニ在リ

第十五 昭和十五年勅令第七百四十一號神祇院ノ副總裁、教務局長及調査官ノ特別任用ニ關スル件中改正ノ件
本件ハ神祇院ノ機構簡素化ニ伴ヒ教務局長ヲ廢官ト爲スニ由リ之ニ對シ特別任用ヲ許シタル規程中ニ整理ヲ加ヘントスル

モノナリ

第十六 行政機構整備實施ノ爲ニスル大藏

省官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲(一)大藏省内
ノ管繕管財資金及監理ノ三局ヲ廢止シ管
繕管財局ノ所掌事務ハ之ヲ大臣官房及總
務理財ノ二局ニ分掌セシメ資金局ノ所掌
事務ハ之ヲ理財局ニ移シ監理局ノ所掌事
務ハ之ヲ理財及銀行ノ二局ニ分掌セシメ
銀行局ノ名稱ヲ銀行保險局ト改メ其ノ他

軍需省ノ新設ニ伴ヒ一部ノ事務ヲ之ニ移

管スル爲理財局ノ所掌事務ヲ整理シ(二)同

省ノ一部職員ニ付其ノ名稱所屬又ハ定員

ヲ變更シ取引所監督官及取引所監督官補

ヲ廢シ(三)釀造試験所ヲ廢止スルコトヲ定

ムルモノナリ

第十七 行政機構整備實施ノ爲ニスル印刷

局官制制定ノ件

本件ハ別件ニ依リ内閣印刷局ヲ大藏省ニ
移管スル爲廢止スルニ伴ヒ新ニ大藏省ノ

外局トシテ印刷局ヲ設置スルコトヲ定ム
ルモノニシテ即チ印刷局ハ大藏大臣ノ管
理ニ屬シ從前ノ内閣印刷局ノ所掌事務ヲ
掌ルモノトシ局長ハ大藏大臣ノ指揮監督
ヲ承ケ局務ヲ掌理スルモ官報及法令全書
ノ編輯印刷等ノ事務ニ付テハ内閣總理大
臣ノ指揮監督ヲ承クルモノトシ其ノ他所
屬ノ職員及其ノ職掌ヲ定ムルモノナリ

第十八 行政機構整備實施ノ爲ニスル司法
省官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲司法省内ノ
行刑保護ノ二局ヲ統合シテ刑政ノ一局ト
爲シ其ノ所掌事務ヲ定メ及同省職員ノ定
員ヲ若干減少スルコトヲ定ムルモノナリ

第十九 行政機構整備實施ノ爲ニスル文部
省官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲文部省内ノ
圖書局ヲ廢シテ其ノ所掌事務ヲ専門教育
國民教育及教學ノ三局ニ分掌セシメ教化
局ヲ廢シテ其ノ所掌事務ヲ教學局ニ移シ

其ノ他總務局、科學局及體育局ノ所掌事務ニ少許ノ改正ヲ加ヘ及同省職員ノ專任定員ヲ若干減少スルコトヲ定ムルモノナリ

第二十 行政機構整備實施ノ爲ニスル厚生省官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲人口及生活ノ二局ヲ合併シテ健民局ヲ新設シ其ノ所掌事務ヲ整理シ衛生局及勤勞局ノ所掌事務ニ少許ノ改正ヲ加ヘ及同省職員ノ專任定員ヲ若干減少スルコトヲ定ムルモノナリ

リ

第二十一 昭和十四年勅令第四百八十一號 軍事保護院ノ職員ノ特別任用ニ關スル件中改正ノ件

本件ハ別案ニ依リ軍事保護院官制ヲ改正シテ其ノ局制ヲ廢シ局長ヲ廢官トスルニ伴ヒ之ガ任用ニ關スル特別ヲ存置スルノ要ナキニ由リ標記勅令中ニ當然ノ整理ヲ施サントスルモノナリ

第二十二 行政機構整備實施ノ爲ニスル大

東亞省官制中改正ノ件

本件ハ行政機構整備實施ノ爲ニスル一措
置トシテ從前商工省ノ管掌セル交易等ニ
關スル事務ヲ大東亞省ニ移管スルコトヲ
主眼トシ之ガ官制ニ一部ノ改正ヲ施サン
トスルモノニシテ(一)大東亞大臣ノ所管事
務中ニ交易ニ關スル事務及交易ニ伴フ外
國爲替ノ管理ニ關スル事務ヲ加ヘ(二)同省
ニ新ニ交易局ヲ設ケ從前ノ商工省交易局
ニ於ケル所掌事務ヲ掌ルモノトシ(三)從前

商工省ニ於テ當該事務ニ關シ設置シタル
交易局參與爲替管理官及爲替管理官補ヲ
大東亞省ニ移シ並ニ交易事務所設置ノ事
ヲ本案官制中ニ規定シ其ノ他同省職員ノ
專任定員ヲ若干増減セントスルモノナリ
第二十三 行政機構整備臨時職員令
本件ハ行政機構整備ノ諸勅令實施ニ伴ヒ
廢官又ハ定員過剩ト爲ル官ニ付曩ニ本院
ノ議ヲ經テ制定セラレタル行政簡素化臨
時職員令ノ例ニ倣ヒ經過規定ヲ定メント

スルモノニシテ(一)今回ノ行政機構整備ノ
勅令ニ因ル廢官ニ係ル官ニ當該勅令施行
ノ際現ニ在官スル者ニ付テハ其ノ者ガ引
續キ其ノ官ニ在官スル間ハ臨時其ノ官ヲ
置カレタルモノトシ此等ノ者ハ特定ノ者
ヲ除キ待命トシ(二)今回ノ行政機構整備ノ
勅令ニ因リ過員ヲ生ジタル官ニ付テハ其
ノ過員ニ該ル員數ヲ限リ當該官ノ定員外
ト爲スコトヲ得ベク此等ノ官ニ在職スル
者ニ付テハ本屬長官ハ必要ニ依リ過員ニ

係ル員數ノ範圍内ニ於テ之ニ待命ヲ命ズ
ルコトヲ得ルモノトシ(三)待命者ノ服務ニ
關スル規定ヲ定メ(四)特ニ必要アルトキハ
今回ノ行政機構整備ノ勅令施行ノ際ニ限
リ當該勅令ニ定ムル定員ニ拘ラズ一ノ當
該關係廳ヨリ他ノ當該關係廳ニ其ノ職員
ヲ轉任セシムルコトヲ得ルコトトシ(五)本
令ノ適用又ハ準用上必要ナル事項ヲ定メ
本令ハ昭和十九年三月三十一日迄其ノ效
力ヲ有スルモノトスルモノナリ

第二十四 戰時行政職權特例中改正ノ件

本件ハ戰局ノ推移内外ノ情勢茲ニ愈々重大化シ今ヤ急速ニ國內諸態勢ノ戰時切替ヲ斷行スルノ必要アルニ鑑ミ之ガ一措置トシテ曩ニ本院ノ議ヲ經テ制定セラレタル戰時行政職權特例中ニ改正ヲ加ヘ之ヲ擴充強化シテ行政ノ決戰態勢化ヲ圖ラントスルモノニシテ其ノ要旨ハ(一)現制ニ依レバ内閣總理大臣ガ關係各省大臣ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得ルハ重要軍

需物資ノ生産擴充上特ニ必要アルトキニ限ラレタルヲ改メ此ノ外更ニ主要食糧ノ確保、防空ノ徹底強化其ノ他綜合國力ノ擴充運用上特ニ必要アルトキヲ加ヘ(二)現制ニ依レバ重要軍需物資ノ生産擴充上特ニ必要アルトキハ勞務、資材、動力及資金ニ關スル行政職權ノ移動ヲ爲シ得ルコトト爲セルヲ改メ職權移動ヲ爲シ得ル場合トシテ主要食糧ノ増産上特ニ必要アルトキヲ加ヘ且移動ヲ爲シ得ル職權ノ範圍トシテ

食糧施設及運輸ニ關スル職權ヲ加フルコトトスルニ在リ

第二十五 高等試験ノ停止ニ關スル件

本件ハ國內態勢強化ノ一策タル國民動員ノ徹底ヲ圖ランガ爲學生ニ對スル一般徵集猶豫ノ停止セララルニ伴ヒ法文科系統ノ學生ハ概ネ軍務ニ服スルヲ豫想セララルニ至リ高等試験ハ之ヲ行ハザルヲ可トスル事情アルニ因リ本件ノ措置ヲ執ラントスルモノニシテ即チ(一)高等試験ハ昭和

十九年ニ於テハ之ヲ行ハザルコトトシ(二)昭和十八年ニ於テ一ノ科ノ筆記試験ニ合格シタル者及大東亞戰爭ノ爲召集セラレ昭和十八年ニ於テ其ノ召集ヲ解除セラレタル者ノ高等試験ノ受験ニ關シ特例ヲ設ケ(三)併セテ關係規程ノ整備ヲ圖ラントスルモノナリ

按ズルニ本案ノ諸件ハ大東亞戰爭ノ現段階ニ即應シ國政ノ運営ヲ刷新シ國內諸般ノ態勢ヲ強化セントシ省ノ新設廢止其ノ他行政

機構ヲ整備シ職員ノ縮減ヲ圖ル等ノ爲必要ナル官規ヲ制定改廢スルコトヲ主眼トスルモノニシテ其ノ趣旨ニ於テ敢テ不可ナキモ各案ノ構想及内容ニ至リテハ是非スルノ餘地尠カラザルモノアリ然レドモ之ヲ現下ノ戦局ト内外ノ政情トニ照シ姑ク之ヲ容認スルノ外ナキモノトス仍テ審査委員會ニ於テハ本案ノ二十五件ハ孰レモ此ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ議決シタリ右審査ノ結果ヲ報告ス

二十四番 (管原)

簡單ニ本案賛成ノ理由ヲ申述

ベタシ本案ノ諸件ハ唯今審査委員長ノ報告ニアリタル通り審査委員會ニ於テ全會一致ヲ以テ可決セラレタルモノニシテ本官モ亦之ニ賛意ヲ表シタル者ノ一人ナリ思フニ本案各件ノ措置ハ現行制度ニ劃期的ノ改革ヲ加フルモノニシテ非常ナル英斷ナリ英斷ナルガ故ニ議論ノ餘地甚ダ多ク再考ノ要アリト認メラルル點亦尠カラズ然レドモ政府ニ於テハ時局切抜ノ爲已ムヲ得ザル改正トシ

テ之が成立ヲ切望スルが故ニ諸般ノ事情ヲ
顧慮シ暫定的非常立法ナリトノ意味ヲ以テ
之ニ賛意ヲ表シタルモノナリ一例ヲ以テ謂
ハバ税關官制廢止ニ伴フ官制改正ノ如キ最
モ考慮ヲ要スルモノナリ同案ハ直接御諮詢
アラザリシモ運輸通信省官制ノ關聯事項ト
シ審議シタル所ナルが税關ハ從來政府ノ財
務ヲ總轄スル大藏省ノ管理ノ下ニ在リタル
ニ今回ノ改正案ハ財務行政トハ没交渉ナル
運輸通信大臣ノ管理下ニ海運局ヲ置キ之ヲ

シテ管理セシムルコトト爲サントス之ヲ以
テ戦力増強ノ上ニ又行政運営ノ上ニ幾許カ
資スルコトヲ得ルヤ或ハ單ニ行政機構ヲ變
改シ事務ノ紛淆ヲ來スノ虞アルニ非ズヤ要
スルニ本案ハ稅務行政ト港灣行政トヲ混同
シ事務ノ圓滑ナル遂行ヲ阻害スルノ嫌アル
モノニシテ慎重考慮ヲ要スベシ然レドモ當
局ノ説明ニ依レバ臨時應急的ノ措置ナリト
ノコトナルが故ニ姑ク之ニ賛成セルニ外ナ
ラズ他ノ問題モ多ク之ニ類ス然レバ政府ニ

於テハ改正案ノ運用ニ當リ充分ノ考慮ヲ拂
ヒ平和克復ノ後ハ速ニ之ヲ現制ニ復サレタ
シ本官ハ此ノ希望ヲ附シ本案ニ賛成セント
スルモノナリ

五番(兼修)

今回ノ措置ハ重大ナル變革ニシテ

茲ニ幾多議論ノ生ズルハ當然ナリ各顧問官
ヨリ開陳セラレタル御議論ハ政府トシテ充
分拜聽シ運用ノ上ニ萬全ノ注意ヲ拂フベシ
而シテ本案諸件ノ官制改正ハ戦争完勝ノ爲
ノ態勢ヲ強化セントスルモノナリ從テ之が

終結シ平時状態ニ復スレバ再ビ其ノ情勢ニ
應ズベキ措置ヲ執ルノ要アルコト當然ノコ
トナルベシ御指摘ノ税關ヲ海運局ニ管理セ

シメントスルハ港灣行政ヲ圓滑ニスル爲ノ
措置ナリト信ズルモノニシテ事務ノ紛淆ヲ
來サントノ御懸念ニ付テハ運営上ニ於テ充
分萬全ヲ期シタシ

議長(原)

他ニ御發言ナキ故第二讀會以下ヲ省

略シテ直ニ採決スベシ本案賛成ノ各位ノ起
立ヲ請フ

(全員起立)

議長(原) 全會一致可決セラレタリ

本日ハ之ニテ閉會ス

聖上入御

(午前十一時十五分閉會)

議長

原 素道

書記官長 堀江 季雄

書記官

諸君 高辻正巳